

特集

# セブン銀行の挑戦

中期経営計画の達成のためには、社員の力が不可欠です。

最前線で取り組む社員の想いや今後の展開について紹介します。

## スマートフォンATM取引サービス

### さまざまなお客さまに、あらゆるシーンで必要とされるATMサービスを提供し続けたい

2017年3月より、セブン銀行ATMでの入出金をスマートフォンで行える「スマートフォンATM取引サービス」の提供を開始しています。サービスに対応するアプリを使ってATMに表示されるQRコードを読み込むことで、入出金が可能となり、キャッシュカードを使わないATM取引を実現しました。

業務推進部 市川 慶



### Q サービス誕生の背景は？

以前より、キャッシュカードを発行していない金融機関などからATMで入出金できるようにして欲しいという要望はありましたが、世の中の大きな流れではありませんでした。しかし、スマートフォンの普及に伴い、新たな決済サービスが誕生し、事業者側の需要に広がりが出てきたことから、より多くのお客さまに当社のATMをご利用いただけるサービスとして実現させました。

本サービスは提携先が提供するアプリと当社のATMを組み合わせたサービスなので、スマホユーザーが多くアプリの開発を得意とするじぶん銀行と最初に取り組めたことも、サービス実現に寄与しました。

### Q 「スマートフォンATM取引サービス」の開発のこだわりポイントは？

より多くのお客さまに便利かつ安心してお使いいただけるよう、iPhoneや、Android搭載のあらゆる機種でスマートフォンで取引ができ、全国23,000台以上のすべてのセブン銀行ATMで一斉にサービスを提供できることを必須要件としました。その結果、ATM側でQRコードを生成し、スマートフォンで読み取るという方法にたどり着きました。また、強固なセキュリティの確立と、カード利用時と遜色がないスムーズな操作の実現にもこだわりました。

### Q 今後の取り組みは？

今回の「スマートフォンATM取引サービス」は、新しいATM利用スタイルの創造の核となるサービスと考えています。本サービスが広がることにより、新たなお客さまからの声やニーズが出てくると思います。次なるサービスの創出につなげていくという意味で、非常に重要なサービスです。今はその第一歩を踏み出したところで、当社が提供するサービスをお客さまの生活に取り入れていただけるよう、提携先の拡大とサービスの普及に努めていきます。

### Q さらなる展開は？

今後は、現金の入出金の領域だけでなく、ATMがさまざまな取引・交流の拠点となるよう、その利用シーンを広げていきたいと考えています。暮らしの中でセブン銀行のATMを身近な存在として感じていただけるサービスを次々創出し、「こんなこともできるんだ」と知っていただくことで、「何か困ったことがあったら、セブン銀行ATMに行けば何とかなる!」と思っただけのような存在にしていきたい。そのためにも、求められていること、提供できることを、日々考え続けていきます。

#### 取引イメージ図(出金の場合)

##### 1 ログイン

アプリを立ち上げログイン



##### 2 アプリで取引選択

ATMボタンを押し、出金選択 & 金額入力 ⇒ カメラが起動



##### 3 ATM操作開始

ATMの取引開始ボタンを押し、ATM画面に表示されたQRコードを読み込み



##### 4 紙幣を受取り

スマートフォンに表示された番号と口座の暗証番号を入力し、紙幣を受取り

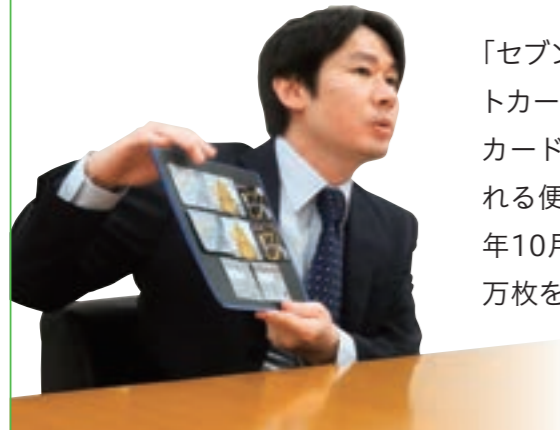


※「iPhone」は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

※「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

## デビット付きキャッシュカード

### 流通グループの一員としての強みを活かしてお客さまにとって便利でお得なサービスを提供していきたい



「セブン銀行 デビット付きキャッシュカード」は、JCBデビットカードと電子マネー「nanaco」を一体化したキャッシュカードです。ご利用ごとに「nanacoポイント」が付与される便利でお得なサービスとして支持をいただき、2016年10月のサービス開始以来、カード発行枚数はすでに18万枚を超えています。

商品サービス部 大橋 幸夫

### Q サービスの普及拡大に向けた取り組みは？

「残高はどのくらいあるのか」「どのくらい使ったか」を手元で確認できるとさらに使い勝手がよくなるとの考えから、当カードの発行に合わせ、預金残高、ご利用明細、電子マネー「nanaco」の残高確認ができるスマートフォン向けアプリ「かんたん通帳」の提供を開始し、ダウンロード数はすでに24万件を超えています。アプリを利用されているお客さまがデビットカードに変更されるケースも増えており、大きな相乗効果を感じています。

また、お客さまからのご要望に応じて付加した「メモ機能」は、お金の使い道を管理しやすいと非常に好評です。



メモ機能画面(イメージ)

### Q 今後の展開は？

近年、国内の市場におけるデビットカードの利用は急激に伸びています。そのなかで当社のデビットカードを選んでいただけるよう、当社サービスの便利さ、使いやすさのアピールに力を入れていきます。セブン・イレブンだけでなく、インターネット通販での代金支払いなど、より多彩な場面でご利用いただけるようなプロモーションにも取り組んでいきます。

また、2017年6月に「月間収支」が確認できる機能を追加するなど、当社のデビットカードをより便利で身近に使っていただけるように、アプリもさらに進化させていきます。


今後もお客さまの立場できめ細やかなバージョンアップ・周辺サービスの拡充を心がけ、おサイフ口座としての利便性を高めていきます。

### Q 「デビット付きキャッシュカード」のこだわりポイントと特徴は？

とにかく「便利に使える」ことがこだわりのポイントです。セブン銀行の口座は、便利で気軽なおサイフがわりの口座として多くのお客さまに選ばれています。預金口座から即時に引落とされるため現金感覚で利用でき、管理がしやすいデビットサービスは、当社の口座と非常に親和性の高いサービスだと思っています。

加えて、セブン銀行らしい、流通グループの一員としての強みを活かしたサービス提供にも取り組んでいます。電子マネー「nanaco」と連携しており、セブン・イレブンでお使いいただくと、ご利用金額に応じて通常0.5%のところ、1.5%の「nanacoポイント」がたまるので、大変お得です。

ご利用金額に対し、nanacoポイントが付与されます。



ご利用店舗	付与ポイント
セブン・イレブン	ご利用金額の <b>1.5%</b>
・そごう・西武 ※食品・飲食・専門店を除く ・セブンネットショッピング ・デニーズ、ファミリー、ポッポなど	ご利用金額の <b>1.0%</b>
上記以外のJCB加盟店	ご利用金額の <b>0.5%</b>

特に  
おトク!

2017年7月1日現在

### ■デザインは「スタンダード」「ボノロン」「トラディショナル」の3種類



「スタンダード」



「ボノロン」



「トラディショナル」

「ボノロン」絵柄のカードは、発行一枚ごとにセブン銀行が100円拠出し、全国の児童館に絵本を寄贈する社会貢献型カードです。

※デビット付きキャッシュカードの発行枚数および「かんたん通帳」のダウンロード数については、2017年5月末現在の情報となります。

## 米国セブン - イレブンへのATM展開

### 便利なATMサービスの提供と 銀行とのパートナーシップ構築を通して、 米国事業の価値向上に努めます

2017年8月より、米国に約8,000店舗あるセブン - イレブンへのATM展開がいよいよ始まります。お客さまに安心してお使いいただける便利なATMサービスの提供を目指してまいります。



FCTI社CO-CEO  
JEFFREY WERNECKE

FCTI社CO-CEO  
ROBEL GUGSA

### Q 米国セブン - イレブン店舗内へのATM設置に向けた現在の準備状況は？

2017年8月からの本格的な設置開始に向け、順調に準備を進めています。現在はセブン - イレブン店内へ設置したATMがスムーズに運用を始められるよう、各パートナー会社と綿密な調整を行っているところです。

当社では、米国セブン - イレブン約8,000店舗への設置および運営が滞りなく進むよう、適切な人員の配置を行うとともに、米国内のオフィス3カ所すべてでIT基盤を大幅にアップグレードしました。また、当社のサーバー基盤を新たなデータセンターに移行し、災害や障害への備えを強化しました。

米国セブン - イレブンは、米国最大のコンビニエンスストアです。その店舗に当社のATMを設置できることを非常に楽しみにしており、長期にわたる良好なパートナーシップを構築できるよう、ベストを尽くします。

### Q 米国におけるATM事業の展望は？

米国はキャッシュレス社会だと言われていますが、実は現金に対するお客さまのニーズには根強いものがあります。一方でお客さまは、当社のようなATM事業者が設置している銀行店舗外のATMよりも、銀行店舗内にあるATMを利用されることが多いため、私たちのATMをいかに多くご利用いただくかが課題となっています。

近年、米国の銀行業界には新しい流れが生まれつつあり、新たなビジネスチャンスが到来しています。現在、多くの銀行がコスト削減の観点から店舗数の削減に取り組んでおり、当社のようなATM事業者が銀行とお客さまの接点を提供する重要なパートナーとして認識され始めているのです。私たちはこうした機会を十分に活かせるユニークなポジションにあると考えています。銀行とのパートナーシップの構築を進め、当社のATMを自行ATMの代わりとしてご利用いただくことで、事業価値のさらなる向上に努めます。

### Q 今後の展開と、それに向けての熱意について教えてください。

私たちの将来における成功は、ATMでの単なる出金にとどまらず、その先にあると考えています。その先に到達するためにも、提携銀行とそのお客さまが「FCTIのATMは銀行の店舗内にあるATMと同じように使えて、とても便利だ」と感じていただけるようなサービスを提供していかなくてはなりません。

また、米国には銀行口座をお持ちでないお客さまが日本などに比べると数多くいらっしゃいます。こうしたお客さまにも当社のATMをお使いいただけるようなサービスの開発にも取り組んでいきます。お客さまにとって安心で便利なATMサービスの提供に努めることで、より一層の成長につなげていきたいと思っております。

